




支所地域の地域資源を活用した 高付加価値型ツーリズムについて

愛知大学 鈴木誠ゼミ
植村彩永, 岡田涼那, 古賀咲菜

目次

1. はじめに
2. 高山市支所地域における縮減社会と内発的发展の可能性
3. 自然・歴史・文化を活かした地域リノベーションと内発的发展への挑戦
4. ポストコロナを見据えた地域産業戦略の現在
5. 高山市における新たなツーリズムの可能性
6. 高付加価値ツーリズムの時代



1 はじめに

研究目的

○2023年度の調査

市独自の経済対策は新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響を最小限に止め、それが安定した財政運営を要因とするものであることを指摘した。

◎今年度の調査

安定した財政政策下でのポストコロナの持続可能な地域づくりを展望する
特に、**支所地域の地域資源を活用した高付加価値型ツーリズムの可能性**について検討

高山市は2005年に近隣9町村（丹生川村、清見村、荘川村、宮村、久々野町、朝日村、高根村、国府町、上宝村）と合併しており、その9町村を支所地域とする。

今回ヒアリング調査では、高山市の支所地域のうち、奥飛騨温泉郷、朝日町、久々野町、高根町などに訪問した。



(出所)飛騨高山ウルトラマラソン

2

高山市支所地域における 縮減社会と 内発的発展の可能性

「過疎・縮減社会」に至るまでの進行プロセス

人の空洞化

1960年代からの高度経済成長により若年層を中心とした農山村から都市への人口大移動
(社会減)

土地の空洞化

1990年代前後の人口の自然減に伴う耕作放棄地や空き家の増大

むらの空洞化

2000年代からの限界集落問題の発生

誇りの空洞化

地域住民がその土地に住む意義や価値を見出せない状態

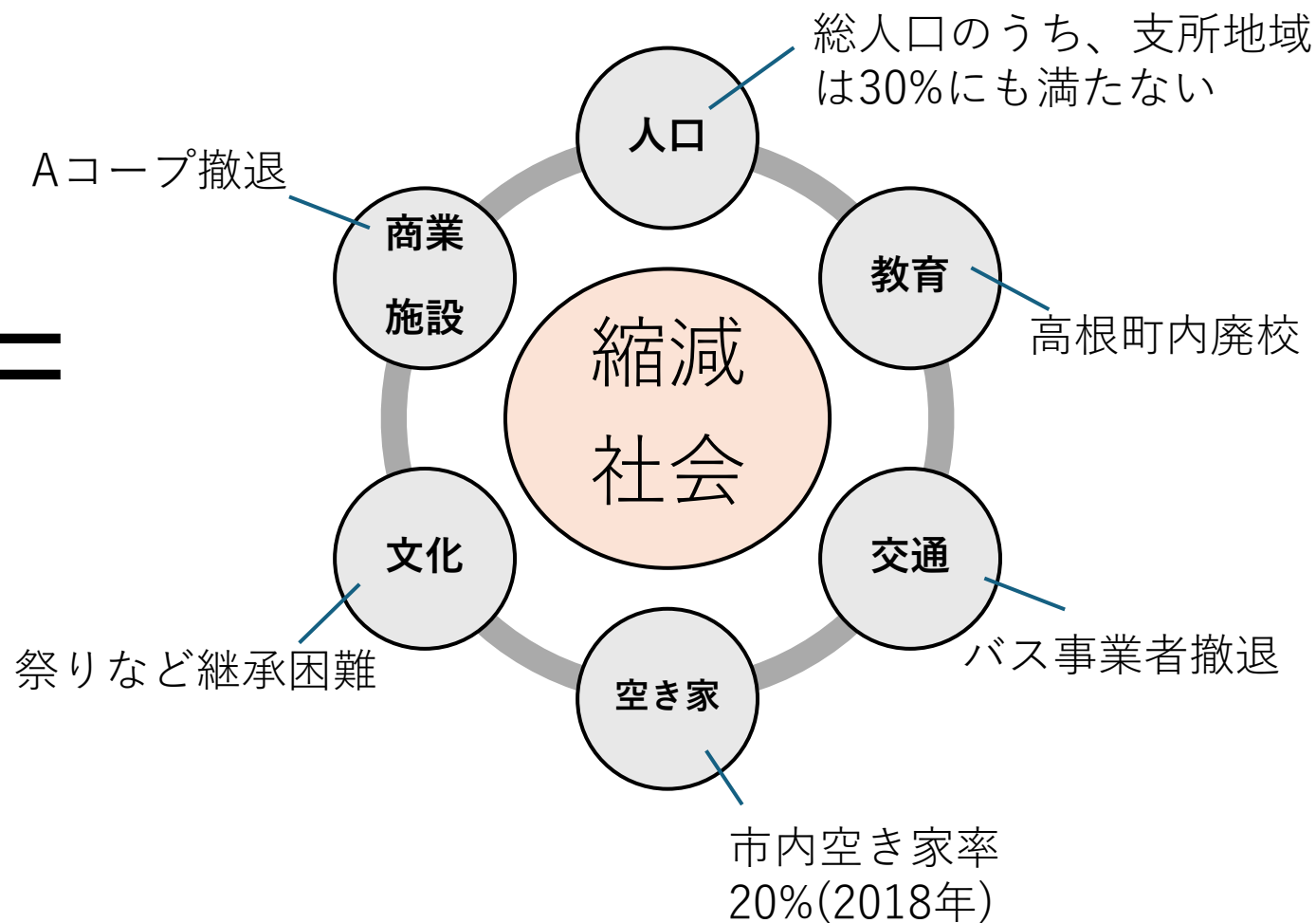


高山市支所地域と「縮減社会」

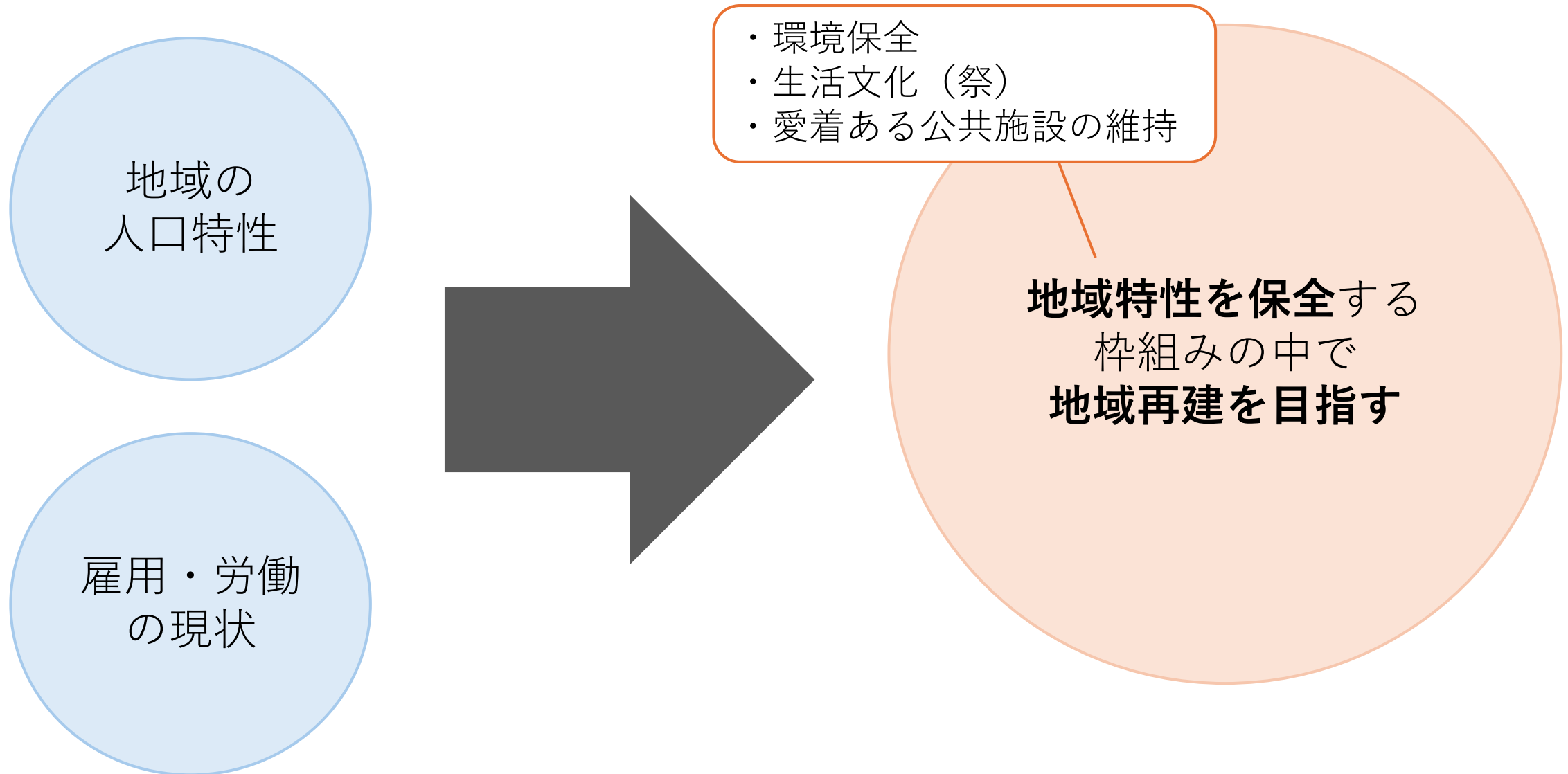
○**誇りの空洞化**が表す生活文化機能が低下する社会を「**縮減社会**」
と定義する

高山市**支所地域**

=



「内発的发展論」に基づいた地域振興



農山村を中心とした「内発的发展論」

—内発的发展論の定義—

『内発的发展論と日本の農山村』 保母武彦

キーワード

①環境・生態系の保全及び社会の維持可能な発展を政策の枠組みとしつつ、
人権の擁護、人間の発達、生活の質的向上を図る総合的な地域発展を目標とする。

- ・ 持続可能性
- ・ 総合的发展

②地域にある資源、技術、産業、人材、文化、ネットワークなどの
ハードとソフトの資源を活用し、地域経済振興においては、
複合経済と多種の職業構成を重視し、域内産業連関を拡充する発展方式をとる。
地域経済は閉鎖体系ではないため、「地域主義」に閉じこもるのではなく、
経済力の集中・集積する都市との連携、その活用を図り、また、必要な規制と誘導を行う。
国家の支援措置については、地域の自律的意思により活用を図る。

- ・ 地域資源活用
- ・ 複合経済
- ・ 多種の職業
- ・ 産業連関
- ・ 地域主義×

③地域の自律的な意思に基づく政策形成を行う。
住民参加、分権と住民自治の徹底による地方自治の確立を重視する。
同時に、地域の実態に合った事業実施主体の形成を図る。

- ・ 住民参加
- ・ 地方自治
- ・ 地域主体

農山村地域での内発的发展の方法

—4つのチェックポイント—

『内発的发展論と日本の農山村』 保母武彦

① グランドデザイン

・・・ほかの事業との連関性が重要

② 地域住民の理解

・・・住民参加による地域の自己決定権が重要

③ リーダーの存在

・・・技術を持ち、全体を見渡すリーダーの存在が必要

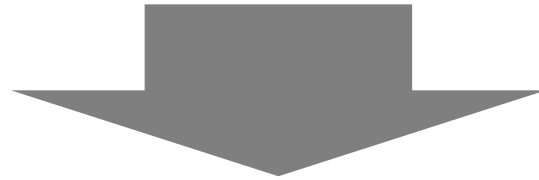
④ 運営資金

・・・運営資金が確保できるのかどうかの確認が必要

縮減社会化が進行する高山市支所地域において

- × インバウンド観光などに対応した地域政策の展望
- × 持続可能な地域社会の展望

不可能



— 共同社会的条件 —

- ・ 地域固有の自然
- ・ 文化（祭など）
- ・ 農林業
- ・ 住民生活
- ・ コミュニティ活動…

現代的な価値
を見出す

= 「内発的发展論」

↳ 「内発的发展論」に基づき、新たなツーリズムを再構築できないか

3

自然・歴史・文化を活かした
地域リノベーションと内発的
発展への挑戦

先行研究：京都府美山町「内発的发展」に基づく先行事例

○美山町北集落のコミュニティビジネスの政策体系

↳ 地域住民が主体となる政策体系

目的

住民の生活
維持・向上
↓
歴史文化景観
を守る

手段

観光に特化した取り組み

住民の積極
的な参加

効果

- ・ 認知度向上
- ・ 来訪者増加

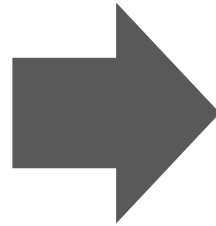
結果

美山全体の
「稼ぐ力」
に波及

先行研究：愛媛県大洲市「内発的发展」に基づく先行事例

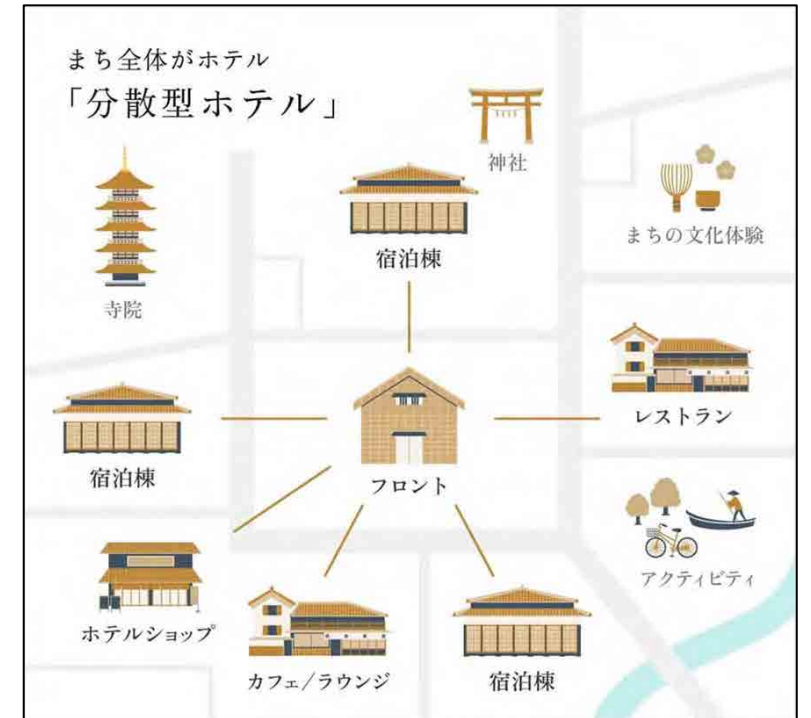
○歴史的資源を活かした事業視点でのサステナブルなまちづくり

住民の危機感



「空き家」を活用した
観光まちづくり

官民連携協定
による
スムーズなまちづくり



(出所)
NIPPONIA HOTEL大洲 城下町, ”コンセプト”

先行研究：愛媛県大洲市「内発的发展」に基づく先行事例

ONIPPONIA HOTEL 大洲 城下町

↳ 高付加価値化



(出所) 作者撮影 (左) 愛媛県大洲市の城下町の街並み



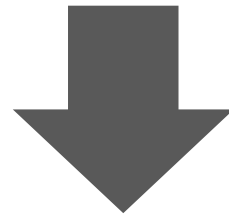
(右) NIPPONIA HOTELの内観

2つの事例より明らかになったこと

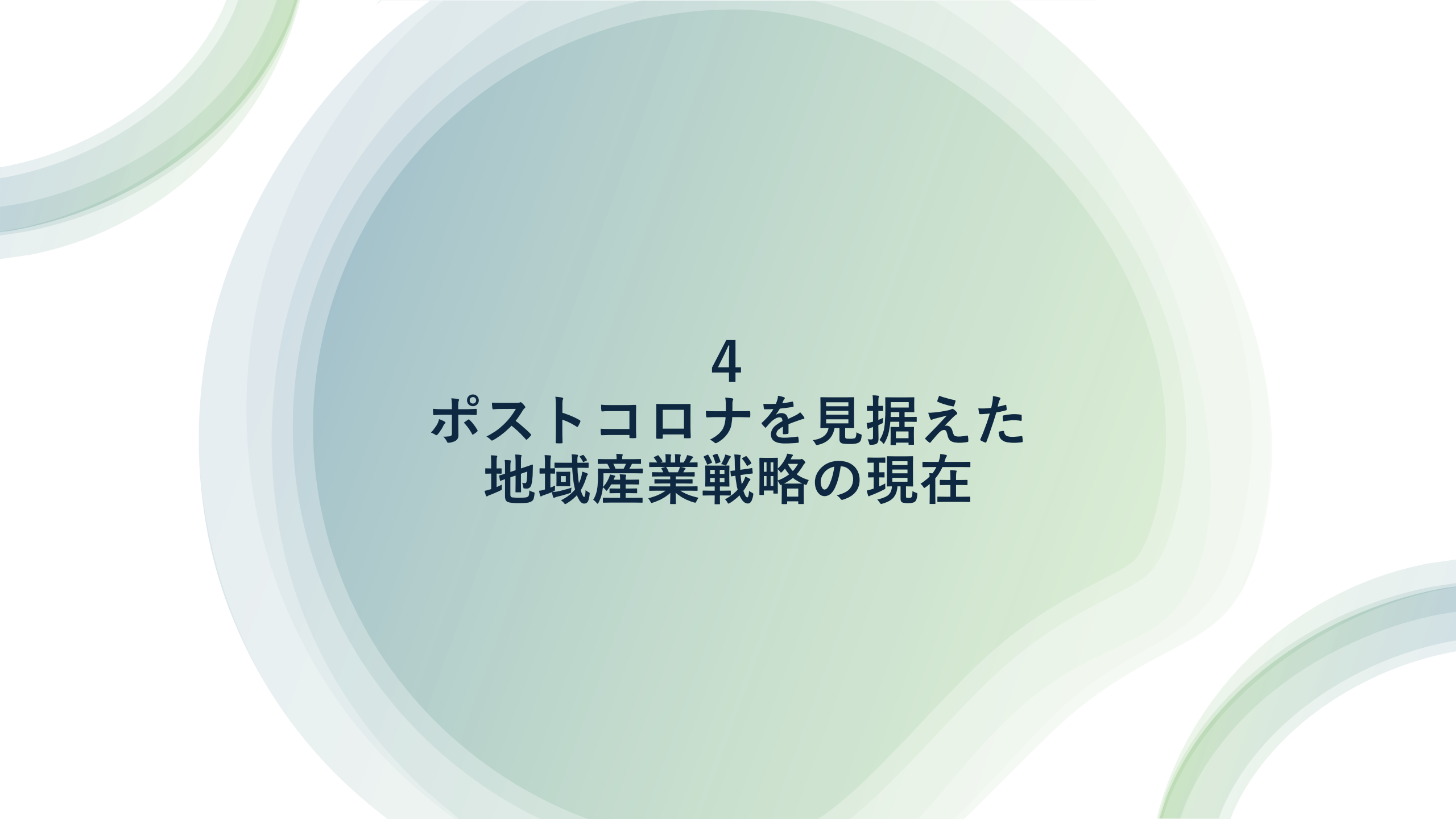
○京都府南丹市美山町・愛媛県大洲市におけるキーワード

①地域の自然・文化の活用

②住民の主体的な参画



内発的発展の観点から地域振興が行われている



4 ポストコロナを見据えた 地域産業戦略の現在

ヒアリング先一覧

9月9日	9月10日	9月11日
岐阜県信用保証協会	中部山岳国立公園奥飛騨 ビジターセンター	高山市財政課
高山市商工労働部	奥飛騨温泉郷観光協会	高山市観光課
	ひだ桃源郷くぐの観光協会	ひだホテルプラザ
	株式会社飛騨高山舞地美恵	飛騨信用組合
	株式会社多美人生開発 張沢丹氏	

高山市の産業課題とは？

岐阜県信用保証協会ヒアリング様子



(出所)作成者撮影

- ・ 経営状況の企業間格差
- ・ 企業における成長の鈍化
- ・ 支所地域における産業政策の不足
- ・ 人口減少による地元企業の減少
- ・ 地域外への資金流出
- ・ 夕食難民
- ・ 地域経済循環の悪さ
- ・ 地域の稼ぐ力の不足
- ・ 旅行需要の縮小と形態の多様化
- ・ 担い手不足

飛騨信用組合

○地域の産業と事業者を潰さないための取り組み

- ・売上倍増塾
- ・事業者支援
- ・さるぼぼコイン運営
などを行う



事業者への継続的な支援

産業課題である、
「人口減少による地元企業の減少」の解決につながる

しかし…

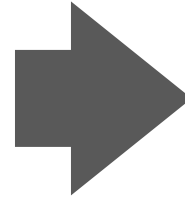
支所地域における産業政策の不足という新たな課題もある

地域資源を活用した取り組み

○ひだ桃源郷くぐの観光協会

- ・アルコピアひまわり園見学
- ・飛騨トマト収穫体験ツアー

- ・元々スキー場があった場所を活用
- ・若い人から家族連れまで多くの方が来訪



元々ある**地域資源**や**場所**を活用しており、**持続可能**な地域づくりにつながるのでは

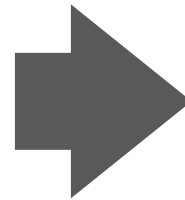
○株式会社 多美人生開発

CRAFT VALLEY 361

クラフトを地域資源と捉え、開始

民宿経営(喜楽園)

「本物の田舎体験」を提供



地域で受け継がれてきた**歴史**や**文化**を活用しており、これは**持続可能**な観光の形といえるのではないかと

- ・外国人観光客は「お金では買えない体験」を得られる



5

高根町における新たな
ツーリズムの可能性

高根町の地域課題構造

小・中学校が無い
雇用の場が少ない
交通に不便



人口流出
人口減少



縮減社会化が
進む地域

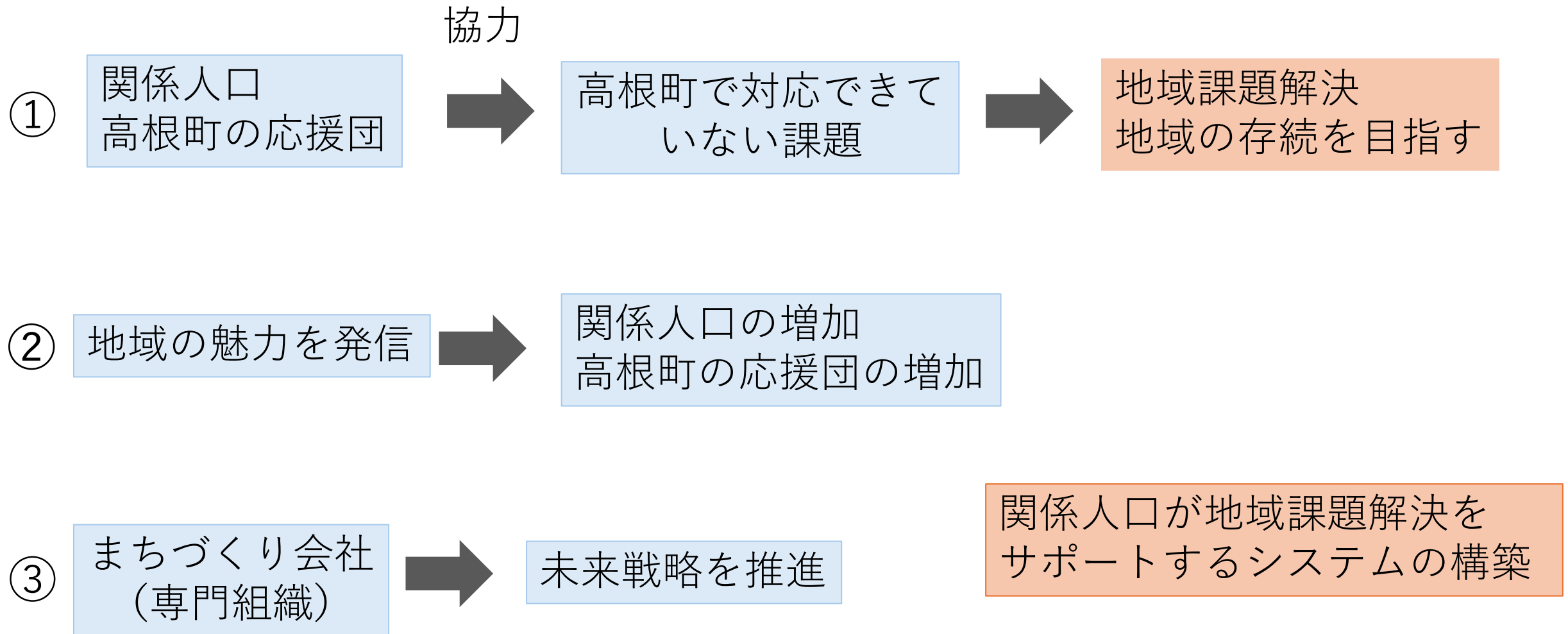
課題が課題を引き起こす「**多重の悪循環**」

対応できない地域課題が持続可能性を脅かしている



人口が少ない中でも現実的かつ具体的に現状を変える政策が必要

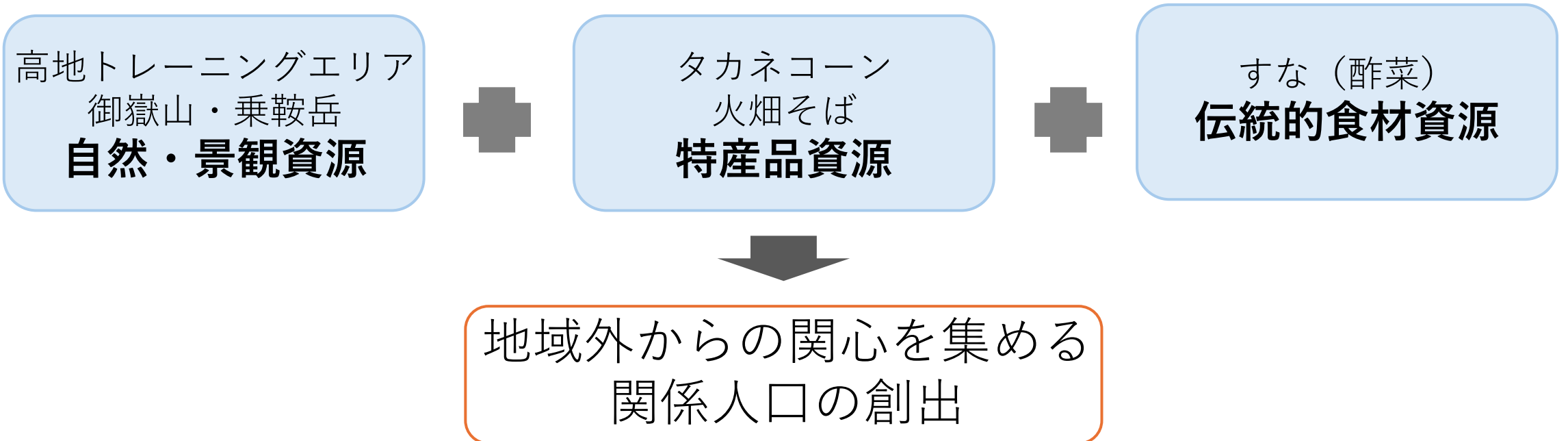
高根地域未来戦略とは？



具体的な施策

①関係人口が地域課題を解決するシステムをつくる

②関係人口を増やすための具体的な事業を行う



③事業主体の設立（まちづくり会社）

ヒアリング概要

調査日	2024/8/22	8/23
対象	20代 3名 30代 1名 40代 4名 50代 9名 60代以上 9名 <u>計26名(男性:24名／女性:2名)</u> Uターン者：2名	65歳未満 10名 前期高齢者 13名 後期高齢者 10名 <u>計33名(男性:21名／女性:12名)</u> Uターン者：2名
調査場所	塩沢温泉 七峰館	中之宿公民館(中洞・中之宿・猪之鼻地域) 高根公民館(上ヶ洞・池ヶ洞・黍生地域) 留ヶ原公民館(日和田・小日和田・留之原地域) 阿多野郷公民館(野麦・阿多野郷地域)

(出所)ヒアリング資料より作者作成

地域の方の意見

○ヒアリングにより聞くことができた住民の意見

- ①誇りに思っている自然環境や祭り、特産品資源を10年後にも残したい
- ②何か手を打つことで衰退の一途をたどる現状から、地域振興を目指したい
- ③外来的発展ではなく、内発的でより現実的かつ具体的に、
現在抱えている課題を解決する方法を求めている



未来戦略で考えられていることと方向性は一致

未来戦略の有効性

未来戦略では…

減少する人口に合わせて地域資源を活用し、関係人口を増加させることで地域の維持可能性を考えている

地域資源を残しながら、地域の維持・発展を目指す



高根町における内発的発展型の新たなツーリズムの形



6

高付加価値型ツーリズムの時代

高付加価値型ツーリズムとは

○高付加価値ツーリズムの定義

高いお金を支払ってでも購入、体験したくなる
ツーリズム商品・サービスを提供・販売することによって、
購入した人・顧客が自分自身の人生を豊かにできた
と感じ取れる、高い満足度を得られるツーリズム

○高付加価値旅行者（着地消費100万円以上/人の訪日外国人旅行者）の特徴

- ・一旅行当たりの消費額が大きい
- ・一般的に知的好奇心や探究心が強い
- ・体験通じて自身の知識を深め、
インスピレーションを得られることを重視する傾向

高山市で高付加価値型ツーリズムを展開する意義

—高山市支所地域—

縮減社会化が進んでいるが

高付加価値型旅行者のニーズを満たす「地域資源」が

自然・文化・住民の日常生活・農業・特産品資源として**存在**している



支所地域で**高付加価値型ツーリズム**を展開

支所地域の持続的な社会の維持・再生

↳ 高山版高付加価値型ツーリズムとは??



内発的发展論の活用

○高山版内発的发展論の原則

- ① 外部資本の投資戦略に依存をしない
- ② 支所地域の開発は環境保全の枠内で行い、まず地域内需要に重点を置くこと
- ③ 支所地域との間で地域内産業連関を構築し、支所地域の多様なコミュニティの維持発展を考えること
- ④ 住民の参加と自治の徹底



高山市をフィールドにした高付加化事業における条件

○内発的发展論に基づく高付加価値型ツーリズムを展望するうえで必要な政策条件

- ①観光地経営を担う新たなまちづくり組織
- ②地域内のリーダー（人、企業）の存在
- ③地域外リーダー（人、企業）との接続
- ④人的資源や地域企業を運営面から支援するための資金



まちづくりファンドの設立

地域のまちづくりに限定した創設を検討し、
継続的に事業資金を確保できるような仕組みづくりを行う

事業実現における資金確保

○まちづくりファンド設立への期待

【飛騨信用組合】

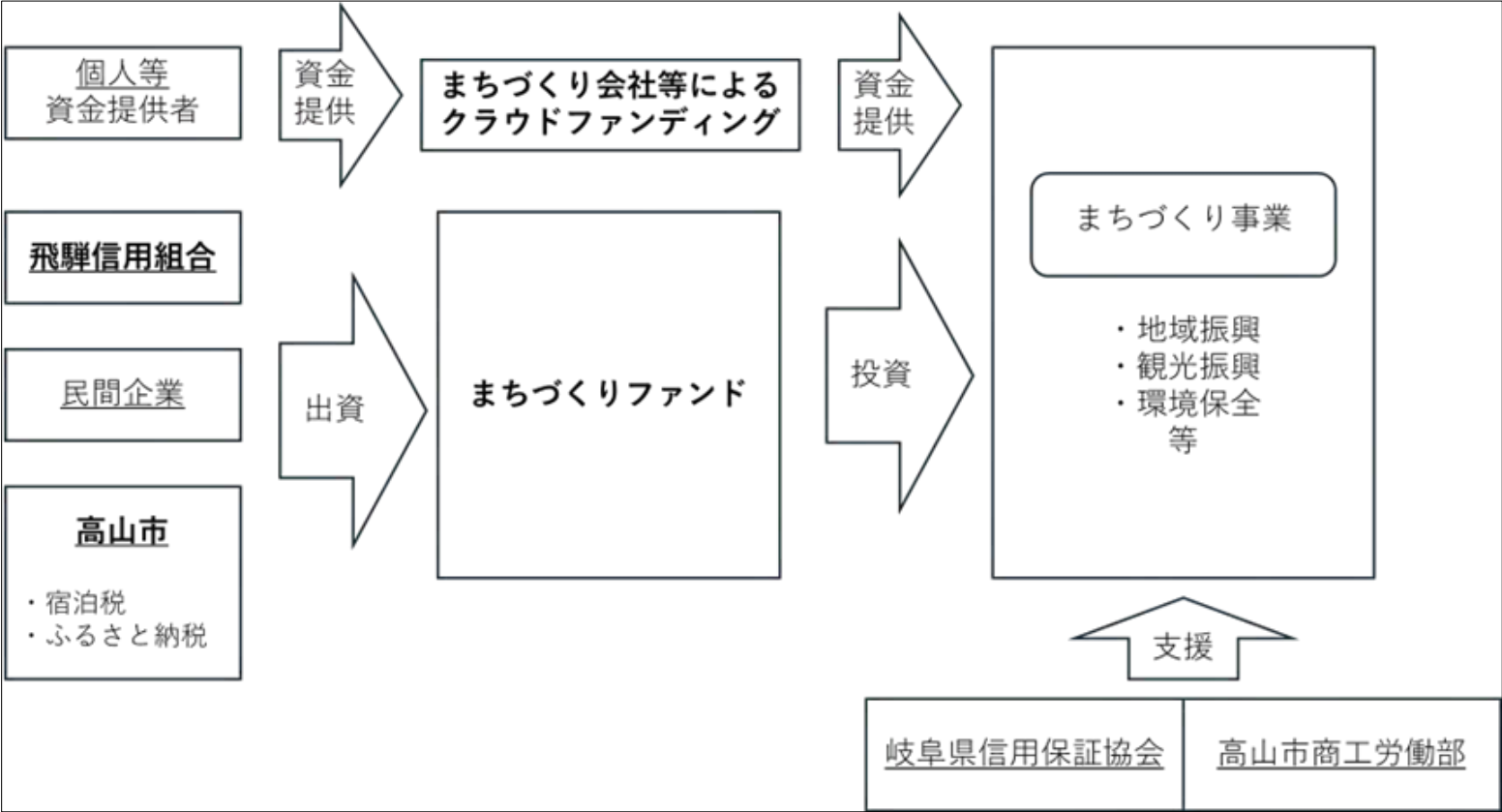
2024飛騨・高山サステナブルファンド

活かす

高山市と協働で支所地域のまちづくりに限定したファンド創設

高根地域未来戦略などの地域ビジョンの実現に貢献する高山市内外の企業やスタートアップ企業を運転資金、事業資金の両面から継続的に支援

図6-1 支所地域支援を目的としたまちづくりファンドの仕組み



(出所) 作者作成



高山版高付加価値型ツーリズムの実践に向けて

○支所地域

来訪者を魅了する地域資源を内包している

- ・ 歴史的建造物
- ・ 伝統文化
- ・ 飛騨山脈など

必要なこと

関係人口獲得

応援者の育成

一支所地域の再生に貢献するツーリズムー

地域資源



付加価値の高い
商品
・
サービス

内発的发展

地域資源
の探求

- ・ 後世に残したい
- ・ ブランド戦略にも
貢献するもの

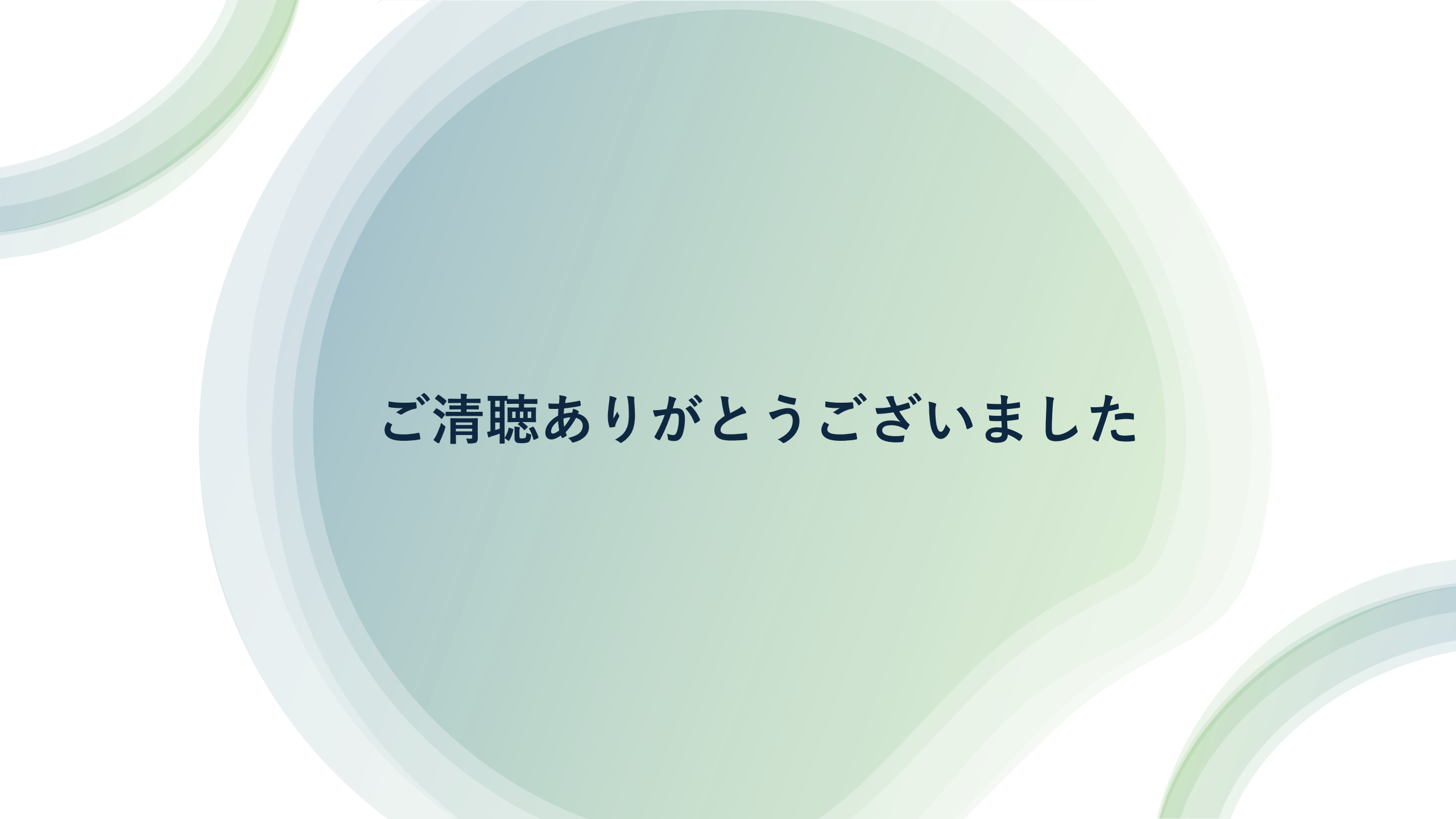
土地

人

むら

地域資源への誇り

誇りの探求・保全＝地域の存続



ご清聴ありがとうございました